

平成29年度 自己評価・学校関係者評価 報告書 (教務部)

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号 105

自己評価

学校教育目標	・夢の実現に向け自ら学び考え、生き生きと表現できる児童生徒を育てる。 ・心のふれ合いを大切に、自他共に尊重できる児童生徒を育てる。
評価する領域・分野	「教育活動、保護者・地域との連携」「各種指導計画の目標と評価のあり方」「情報管理」
現状及びアンケートの結果分析等	「授業や行事等の参観する機会を設け積極的に教育活動について公開している」については「よくあてはまる」と評価された方が昨年度より多少減少しているが、ややあてはまるを加えると横ばいなので、今後も取組を継続していく。「学校活動のPRを積極的に行っている。」は昨年度より若干評価が高くなり、広報活動（教務部担当は学校HP）を充実していきたい。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	①目標を明確にした教育活動の実施に努める。 ②保護者へのわかりやすい情報提供の充実と評価のあり方を推進する。 ③記録や情報等の管理及び整理に努める。
重点目標を達成するための校内組織体制	・教務主任、部教務の連携強化 ・教務主任を接点とした各学部、分掌との連携強化 ・評価における文章表現をわかりやすくする。
目標の達成に必要な具体的取組	・教務部業務を「教務」「庶務・広報」「情報」に編成し、それぞれの係に職員の特性を生かして小学部、中学部、高等部職員を配置した。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	①教育活動の様子が誰にでも分かりやすく公開されているか。 ②年間計画及び個別の指導計画をふまえた教育活動が構成されているか。 ③記録管理の諸帳簿や情報モラルに関する日頃の点検等、定期的に確認しているか。
取組状況・実践内容等	①学校行事や日頃の教育活動の様子を分かりやすくHPやプリント等で公開する。 ②年間計画や個別の指導計画等の有効的な活用に向けて職員の意識向上を図る。 ③管理に関する諸帳簿記入や整理、点検の徹底を推進する。
評価の視点	評価
①教育活動の様子を広く示すことができたか。	A (B) C D
②年間計画や個別の指導計画等が効果的に活用できたか。	A (B) C D
③情報管理の危機意識をもって取り組むことができたか。	A (B) C D
成果・課題	総合評価
○教育活動について積極的に公開していることについては学校評価アンケートより充実していたと思われる。学校活動のPRについてはHPの更新を週3回程度行った また、表現をわかりやすくしたことや昨年度より実施した個別の指導計画と通知表の一体化が定着したことによりより保護者への説明がよりわかりやすくなったと思われる。 ▲いろいろな物品の管理や危機意識を今後より一層重視していく必要がある。	A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	・今後とも各方面へのHPによるPR活動の継続（誰にでもわかりやすく） ・物品管理の意識の向上

学校関係者評価 (平成30年2月1日実施)

意見・要望・評価等
・今後とも保護者が安心して子どもを通わせることのできる学校づくりを期待します。

